# ふたばこども園 園 便 り **11 月 号**



令和7年11月1日発行

文 責 副園長 松島 正和



きく

### 入園説明会を行いました

先月はまだまだ暑い日も多く、秋はいずこへ・・と思う日もありましたが、11月に入りようやくイチョウ並木も色づき始めたようです。今年の秋は短いと言われていますが、秋ならではのものを楽しみたいものです。

さて、10月1日と2日の二日間、令和8年度に本園への入園をお考えの方を対象とした入園説明会を行いました。本園はもともと幼稚園としてスタートした園ですが、近年は3歳で入園される方は減少する傾向にあります。両親ともにお仕事をされているご家庭の増加や少子化によるお子さんの数そのものの減少という影響もあるのでしょう。ありがたいことにふたば全体としては、現在定員を上回るお子さんをお預けいただいています



が、今後益々少子化が進むことを考えると、少しでもたくさんの方にふたばの保育の良さを知っていただきたいと思うものです。来年度入園希望の方の願書は随時受付を行っています。お知り合いやご近所にこども園や幼稚園、保育所等をお探しの方がいらっしゃいましたら、ぜひ「ふたばこども園」をご紹介ください。また、兄弟(姉妹)枠等でお申し込みをご希望の方は、園までお早めにご連絡いただければありがたいです。よろしくお願いします。

#### 内科健診・歯科健診がありました

今年度2回目の内科健診、歯科健診がありました。本園の園医は富崎小児科の円城寺しづか先生、園歯科医は寺谷歯科の寺谷由唯先生です。本園は園児数も多いため、園医の先生方にはいつも長時間診察をして頂いていますが、子ども達も大変お行儀よくスムーズに先生に診ていただくことができ、お二人の先生にはお褒めの言葉をいただいています。

定期的な健診は子ども達も疾病やう歯の早期発見に大変効果のあるものです。おたよりをうけとられたところは、主治医へ早めのご相談をお願いいたします。



## 運動会へ向けて準備を進めています



今年度は例年よりも運動会の日程を送らせて、今月15日(土)に行います。熱中症の心配や短大、女子高との行事の兼ね合いによるものですが、10月半ばまで暑さが続いていたことを考えると、今後も運動会の時期の決定については悩ましいことになりそうです。さて、子ども達も少しずつ運動会モードに入ってきていますが、年中クラスが「ポップコーン」のできる様子をみんなで見る活動を行いました。「なぜに??」とも思いましたが、年中さんは運動会でポップコーン体操を踊るそうです。その中で、「はじけるように」踊ってほしい場面があり、子どもたちに伝えたところ「はじける」という様子がピンとこない子どもが多かったとのことです。そこで、実際にポップコーンのできる様子を見せてはどうか、ということになり、コンロとフライパンを準備して調理場面を見せたところ、これが大成功!ポンポンと勢いよくコーンがはじける様子に大歓声が上がっていました。当日はきっとすてきな

ダンスをそれこそはじけるような笑顔とともに披露してくれると思います。

## これからの時代に必要な生きて働く力とは?

固い話で恐縮ですが、アメリカの巨大企業 Google はみなさんご存じと思います。そこで働く社員たちは全世界で20万人とも言われていますが、この巨大企業を支える社員たちが入社するにあたっての試験がどんなものか興味はおありでしょうか。

ある年に次のような問題が出されたそうです。「スクールバスにゴルフボールをぎゅうぎゅうに詰めると何個入るか?」 はて?・・そんなの分かるわけないじゃん、と思考停止に陥ったらそこで終わり。自分の持っている知識や思考力を総動員して「ある程度ここからこの範囲に収まるのではないか」ということを論理的に説明して行かなければならないそうです。こういった考え方をフェルミ推論というそうですが、たとえば、バスの車体の容積は・・だいたい $3\,m\times3\,m\times1\,0\,m$ くらいとして・・完全な直方体ではないことと椅子とか手すりとかあることを考えるとその半分くらいが容積で・・ゴルフボールは直径が約 $5\,c\,m$ とするとその体積は・・ボールのような球体の空間充填率はだいたい $7\,$ 割だから・・などと少しずつ範囲を狭めていって最終的に何個くらい、という解答を出すのだそうです。先の見えない、変化の激しい時代だからこそ、わずかなヒントや手がかりを元に根拠のある考えを紡いでいく。本園で子どもたちが試行錯誤を繰り返しながら遊びを深めていく姿こそ、これからの時代を生き抜く力を身に付けるために必要な姿だと思っています。